



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月6日

上場会社名 京阪ホールディングス株式会社 上場取引所 東  
コード番号 9045 URL <https://www.keihan-holdings.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石丸 昌宏  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 グループ管理室 経理部長 (氏名) 城野 教雄 TEL 06-6944-2527  
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	205,530	13.4	28,081	60.7	27,553	55.0	21,613	32.6
2023年3月期第3四半期	181,323	1.3	17,474	97.4	17,775	69.6	16,301	176.4

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 24,379百万円 (33.8%) 2023年3月期第3四半期 18,226百万円 (216.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	201.58	201.53
2023年3月期第3四半期	152.06	152.02

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	785,264	294,709	36.7
2023年3月期	774,849	273,510	34.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 288,554百万円 2023年3月期 268,249百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2024年3月期	—	0.00	—		
2024年3月期(予想)				35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	299,000	15.0	31,500	53.7	30,500	49.1	24,500	39.0	228.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	113,182,703株	2023年3月期	113,182,703株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	5,955,764株	2023年3月期	5,978,200株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	107,220,518株	2023年3月期3Q	107,198,923株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項などについては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

「2024年3月期第3四半期 決算補足資料」は本日、当社ウェブサイトに掲載するとともに、TDnetで開示しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(四半期連結損益計算書) .....	6
(四半期連結包括利益計算書) .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計上の見積りの変更) .....	8
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間につきましては、当社グループでは、各事業にわたり積極的な営業活動を行って業績の向上に努めました結果、営業収益は205,530百万円（前年同期比24,206百万円、13.4%増）、営業利益は28,081百万円（前年同期比10,606百万円、60.7%増）となり、これに営業外損益を加減した経常利益は27,553百万円（前年同期比9,778百万円、55.0%増）となりました。さらに、これに特別損益を加減し、法人税等及び非支配株主に帰属する四半期純利益を控除した親会社株主に帰属する四半期純利益は21,613百万円（前年同期比5,312百万円、32.6%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### ①運輸業

鉄道事業やバス事業におきましては、旅客需要の回復に伴う輸送人員の増加などにより、増収となりました。

これらの結果、運輸業全体の営業収益は67,177百万円（前年同期比6,442百万円、10.6%増）となり、営業利益は10,264百万円（前年同期比3,893百万円、61.1%増）となりました。

#### ②不動産業

不動産販売業におきましては、開発案件のホテルやオフィスビル売却などにより、増収となりました。

不動産賃貸業におきましては、不動産ファンド収入の減少などにより、減収となりました。

これらの結果、不動産業全体の営業収益は82,048百万円（前年同期比5,429百万円、7.1%増）となり、営業利益は13,368百万円（前年同期比5百万円、0.0%増）となりました。

#### ③流通業

百貨店業におきましては、インバウンド売上の回復やくずはモール店のモールリニューアル効果などにより、増収となりました。

ストア業におきましては、「もより市」各店舗の開業効果などにより、増収となりました。

ショッピングモールの経営におきましては、飲食需要の回復や「KUZUHA MALL」のリニューアル効果などにより、増収となりました。

これらの結果、流通業全体の営業収益は39,807百万円（前年同期比1,578百万円、4.1%増）となり、営業利益は2,187百万円（前年同期比678百万円、45.0%増）となりました。

#### ④レジャー・サービス業

ホテル事業におきましては、インバウンドや国内旅行需要の回復に加えて、2023年3月25日に開業した「ホテル京阪なんばグランデ」の通期寄与などにより、増収となりました。

これらの結果、レジャー・サービス業全体の営業収益は26,716百万円（前年同期比10,170百万円、61.5%増）となり、営業利益は3,176百万円（前年同期は2,606百万円の営業損失）となりました。

#### ⑤その他の事業

その他の事業におきましては、インバウンドや国内旅行需要の回復に伴う「GOOD NATURE STATION」利用者数の増加などにより、営業収益は3,426百万円（前年同期比749百万円、28.0%増）、営業損失は609百万円（前年同期は915百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形、売掛金及び契約資産が減少したものの、販売土地及び建物や投資有価証券が増加したことなどにより、前連結会計年度末から10,415百万円(1.3%)増加し、785,264百万円となりました。

負債につきましては、前受金が増加したものの、工事代金などに係る未払金や有利子負債が減少したことなどにより、前連結会計年度末から10,782百万円(2.2%)減少し、490,555百万円となりました。

純資産につきましては、利益剰余金が増加したことなどにより、前連結会計年度末から21,198百万円(7.8%)増加し、294,709百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、前回公表数値(2023年11月9日)から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,784	15,629
受取手形、売掛金及び契約資産	36,058	27,377
有価証券	75	170
販売土地及び建物	147,347	160,281
商品	1,538	1,905
その他	15,583	19,684
貸倒引当金	△385	△328
流動資産合計	217,002	224,721
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	206,386	203,383
機械装置及び運搬具(純額)	17,163	16,781
土地	231,271	232,271
リース資産(純額)	10,537	9,751
建設仮勘定	18,010	21,107
その他(純額)	3,268	3,430
有形固定資産合計	486,638	486,726
無形固定資産	7,476	7,586
投資その他の資産		
投資有価証券	45,142	48,706
長期貸付金	198	155
繰延税金資産	4,104	2,973
退職給付に係る資産	1,705	1,753
その他	12,731	12,775
貸倒引当金	△149	△134
投資その他の資産合計	63,731	66,230
固定資産合計	557,846	560,543
資産合計	774,849	785,264

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,137	11,402
短期借入金	53,608	77,958
1年内償還予定の社債	20,000	—
未払法人税等	3,751	2,538
前受金	10,178	15,717
賞与引当金	2,882	1,755
その他	48,218	37,992
流動負債合計	148,777	147,366
固定負債		
社債	80,000	80,000
長期借入金	188,016	178,942
長期未払金	132	117
リース債務	10,554	9,774
繰延税金負債	3,465	4,219
再評価に係る繰延税金負債	32,475	32,146
役員退職慰労引当金	127	76
退職給付に係る負債	16,842	16,640
その他	20,945	21,271
固定負債合計	352,560	343,189
負債合計	501,338	490,555
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	51,466	51,466
資本剰余金	28,792	28,800
利益剰余金	166,989	186,134
自己株式	△21,574	△21,493
株主資本合計	225,673	244,907
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,021	8,672
土地再評価差額金	35,031	34,283
為替換算調整勘定	72	131
退職給付に係る調整累計額	449	561
その他の包括利益累計額合計	42,575	43,647
新株予約権	121	101
非支配株主持分	5,139	6,053
純資産合計	273,510	294,709
負債純資産合計	774,849	785,264

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
営業収益	181,323	205,530
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	132,945	145,084
販売費及び一般管理費	30,903	32,364
営業費合計	163,849	177,449
営業利益	17,474	28,081
営業外収益		
受取利息	23	20
受取配当金	503	483
持分法による投資利益	77	43
雇用調整助成金	475	21
新型コロナウイルス感染症対策補助金	206	39
雑収入	779	485
営業外収益合計	2,067	1,093
営業外費用		
支払利息	1,420	1,346
雑支出	345	274
営業外費用合計	1,766	1,621
経常利益	17,775	27,553
特別利益		
固定資産売却益	4,629	4,492
補助金	561	557
工事負担金等受入額	106	80
投資有価証券売却益	—	1
受取補償金	2,009	—
特別利益合計	7,307	5,130
特別損失		
固定資産圧縮損	134	1,372
固定資産除却損	1,195	419
投資有価証券評価損	31	397
その他	1	12
特別損失合計	1,363	2,202
税金等調整前四半期純利益	23,719	30,482
法人税、住民税及び事業税	5,852	7,188
法人税等調整額	957	757
法人税等合計	6,809	7,945
四半期純利益	16,909	22,536
非支配株主に帰属する四半期純利益	608	922
親会社株主に帰属する四半期純利益	16,301	21,613



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	16,909	22,536
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	948	1,673
退職給付に係る調整額	201	111
持分法適用会社に対する持分相当額	166	58
その他の包括利益合計	1,316	1,842
四半期包括利益	18,226	24,379
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,615	23,433
非支配株主に係る四半期包括利益	611	946

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

退職給付に係る会計処理において、数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理年数は、従来、従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（主として13年）で費用処理しておりましたが、平均残存勤務期間がこれを下回ったため、第1四半期連結会計期間より費用処理年数を主として12年に変更しております。

なお、当該変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(重要な後発事象)

(無担保社債の発行)

当社は、2023年5月23日開催の取締役会における社債発行に関する包括決議に基づき、下記の条件にて第37回無担保社債を発行いたしました。

- (1) 発行総額 10,000百万円
- (2) 発行価格 各社債の金額100円につき金100円
- (3) 払込期日 2024年1月25日
- (4) 償還期限 2029年1月25日
- (5) 利率 年0.589%
- (6) 資金の用途 環境配慮型建物の取得及びまちの賑わいや商業の活性化に繋がる市街地再開発（枚方市駅周辺地区第一種市街地再開発及び「京阪枚方ステーションモール」Dブロックの一体整備事業）、環境負荷軽減素材を使用した製品の調達・使用（「NEMOHAMO」「MARKET」における脱プラスチックの取り組み）並びに再生可能エネルギー由来の電力調達（「GOOD NATURE STATION」における再エネ電力証書の購入）に係る投資資金及びリファイナンス資金に充当する予定であります。